

県外研修に参加して (平等院鳳凰堂・オムロン京都太陽工場)

8月22日(水)、人権機関有田川委員を対象とした県外研修を行いました。委員19人・事務局2人で京都へ行き、平等院鳳凰堂とオムロン京都太陽工場(京都市)を見学しました。平等院鳳凰堂は、平成24〜26年の改修工事を経て外観がきれいになっており、その美しい姿にしばし目を奪われました。

オムロン京都太陽工場では、さまざまな障害を持った124人が仕事をしています。

オムロン株式会社が生産技術の支援をし、社会福祉法人太陽の家がそこで働く障害者の皆さまの生活や健康を支援する。双方が協力し、一人一人に合った業務につかせることで、各人それぞれの能力にあった作業をこなすことができる。結果、工場全体で、健常者に劣ることのない生産効率を達成しています。

そこには、数々の工夫やアイデアがありました。一人では困難な作業も、何人かで分担すればできます。例えば、片腕しか自由に動かせない人がいるなら、右腕が動く人は製品の右側半分を、左腕が動く人は製品の左側をそれぞれ組み立てればよい。このように、できる作業を分担することによって、健常者が1人で10個作る

間に、障害者が5人で50個作ります。

また車いすの人は、作業中にちよつと離れたものを取るといふ動作がしづらい。それなら、そのちよつと離れたものを1つずつ手元に運んでくる機械を作れば、車椅子の人でも容易に作業ができるようになります。そういった工夫が随所に見られる工場でした。

これらの工夫は、健常者が作業する工場でも、作業者の負担を軽減できるでしょう。オムロン京都太陽工場の数々の工夫・アイデアは、健常者が働く工場でも採用することで、作業者の身体的負担の軽減や生産効率の向上につながるものが多数あるように思えました。

オムロン京都太陽株式会社の社憲は「われわれの働きで、われわれの生活を向上し、よりよい社会をつくりましょう」です。

障害者の皆さまは、仕事をし、自分でお金を稼ぐということに、健常者以上に喜びを感じています。社憲にあるように、社会に保護される立場から、自分の稼ぎで経済的に自立し、自分の生活を向上させるようになる。ここで働く人々は、そういう思いを強く持っています。それがよりよい社会づくりに繋がっていくだろうという思いも。

しかしながら、障害を持ちながら仕事に就けている人は1割程度だそうです。重度障害を持った人が仕事に就けるような工場が少しでも増えるように…。その先駆けとして、オムロン京都太陽工場は日々前進しています。

人権機関有田川委員 宮尾純

人権講演会 アンケート

8月26日(日)に行った、辻井いづ子氏による講演会「子どもの才能の見つけ方」のアンケートに感想をいただきました。一部ご紹介します。

子育ての応援をしていただいたように思います！辻井様のように、いつもポジティブに楽しく取り組めるよう、心がけたいなと思いました。行動力もすごいなと思いました。子どもと共に、丁寧に関わる子育てが手に取るように分かりました。迷いながらも、子どもを信じてがんばりたいなと思いました。

30代 女性

子どものやりたい、してみたい！という気持ちを大事にしてあげること。改めて実感です！ダメで元々の気持ち、前向きな気持ちも大事なことです。いろいろと素晴らしい講演、ありがとうございました。

50代 女性

子どもに可能性があることを見出されたお母さんの、素晴らしさを感じ

ました。私は、自分の子育ては卒業していますが、心に染みました。と共に、こんな話を早く聴けたらよかったなと思いました。ほめて育てるは当たり前ですが、なかなかできないことです。伸行さんを育てたいつ子さん、素晴らしいお母さまです。

60代 女性

お知らせ

女性の人権ホットライン強化週間

夫やパートナーからの暴力やストーカー、セクハラなど、女性をめぐる人権について、電話相談を受け付けます。相談は無料で、秘密は厳守されます。

●日時／11月12日(月)〜11月18日(日) ※平日8時30分〜19時。土日は10時〜17時。

●電話番号／0120・070・810 (全国共通ナビダイヤル)

人権特設相談所

10月18日(木)、人権特設相談所を開設します。相談は無料で、秘密は厳守されます。

●場所／金屋文化保健センター
●時間／13時〜16時

人権に関する問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課
TEL 5212111
FAX 324827